



時代を切り拓く子どもたちの育成を目指して、市内4校のモデル校で、ICT活用を実践中

ICT教育の推進

ICT（情報通信技術）が広く利用されている社会で、子どもたちが生きていくために必要な情報活用能力を身に付けることは必要不可欠です。そのため、本市では、学校現場に必要なICT環境の整備に積極的に取り組んでいます。

昨年度には、小学校の電子黒板機能付きプロジェクタをはじめとするICT環境を更新し、今年度の夏休みには、小学校と同様に中学校のICT環境を更新しました。

また、さらなる取組みとして、ICT教育のモデル校の4校に、子どもがタブレットPCをクラスで1人1台使うことができる学習環境を整えました。現在、各モデル校では、切磋琢磨しながら、ICTを活用した「わかりやすい授業」の実践に取り組んでいます。

モデル校のICT環境
(大城小・味岡小・光ヶ丘中・味岡中)



3クラスに1クラス分程度のタブレットPC(792台)



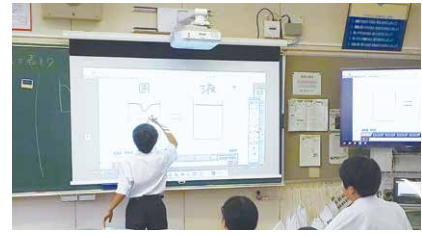
ICT支援員が月4回巡回し、教員や子どもをサポート



個人の習熟度に応じて学ぶことができるドリルソフト

令和元年9月に全中学校に新たに導入・更新したICT機器

電子黒板機能付きプロジェクタとスクリーン



全ての普通教室と一部の特別教室に各1台(計237台)

教室用タブレットPC



全ての普通教室と一部の特別教室に各1台(計237台)

生徒用タブレットPC



移動用として、各校10台程度(計89台)



パソコン教室に各校40台(計360台)

モデル校では、さらに!!

モデル校では、こんな活用に取り組んでいます

味岡中学校

理科では、様々な実験の観察・記録にタブレット PC を活用しています。

ペットボトルの中に雲をつくる実験では、班ごとに実験の様子を写真や動画で記録します。大型スクリーンに映る他班のライブ映像を参考にしながら、どの班でも工夫を凝らした実験が繰り返されます。

その後、タブレット PC を使って発表用のノートを作成し、グループ発表を行っています。



味岡小学校

図工では、作品の鑑賞や発表にタブレット PC を活用しています。

クラスの仲間の作品を鑑賞した後、タブレット PC を駆使して鑑賞シートを作成して発表し合います。写真や言葉で書き出すことにより、自分が思ったこと・感じたことが深まります。さらに、タブレット PC の画面や教室のスクリーンに鑑賞シートを映して伝え合うことで情報を共有しています。



光ヶ丘中学校

卓球部では、技術向上のため、日ごろから積極的に ICT 機器を活用しています。

卓球台の上に設置したタブレット PC で見本の動画を見て、ポイントを押さえた練習をしています。

また、対戦相手側からタブレット PC のカメラ機能を使って撮影した自分の映像を約 3 秒遅らせて大型モニタに映して、自分のフォームや相手側からの見え方を確認しながら、改善につなげています。



大城小学校

算数では、1 人 1 台のタブレット PC に先生から問題シートを配信すると、子どもたちは慣れた様子でタブレット PC に計算式や意見を書き込んだり、ノートをカメラで撮影して画像を取り込んだりします。

また、発表者のタブレット PC の画面をクラスメートの画面に映すことで、全員が手元で同じものを見て質問や意見を出し合うなど、集中して授業に取り組んでいます。



問合先

ICT 機器の整備
ICT 教育の内容
教育総務課
学校教育課
(☎ 7676・1165)
(☎ 7676・1164)

ICT 教育に関するアンケート調査結果 (抜粋) R1.10 実施

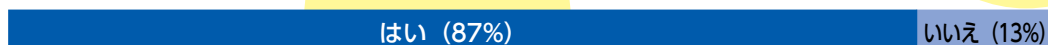


昨年 10 月に実施したアンケート結果からは、ICT を活用した授業は「わかりやすい」、「集中して取り組むことができる」といった効果や、保護者の皆さんが ICT 教育に寄せる期待などがわかりました。

【子ども】コンピュータやタブレット PC を使った授業はわかりやすいですか？ (回答数：1638 人)



【子ども】コンピュータやタブレット PC を使った授業では、集中して取り組むことができますか？ (回答数：1638 人)



【保護者】ICT 教育で学校に期待する点は何ですか？ (回答数：282 人)

1 位 情報セキュリティに対する意識の向上 **2 位** わかりやすい授業 **3 位** ICT 機器の取り扱い能力の向上